



一口に外装パーツといっても、スチールやステンレスなどの金属系、ABSやポリカーボネートなどの樹脂系、はたまた軽量&高剛性を誇るFRPやカーボンなどの複合素材系等々、様々な素材が採用されており、そして足下を彩るホイール。スポークホイールやキャストホイールって見た目以外に何が違うの？ というわけで今回は外装パーツとホイールに関するお話です。

■お題目、其の二 ホイールの種類と特徴



蒲原「ホイールにはどんな種類があるんだ？」
永作「代表的なのはキャストホイールとスポークホイール。その他スポーク式の弾力性とキャスト以上の軽量性を兼ね備えたコムスターホイール、コムスターだ。」

とキャストの中間的なつくりのコムキャストホイールなんてもあるよ」
蒲原「キャストホイールはロードタイプに多用されているタイプだね」
永作「そう。アスファルトの路面に適したホイールともいえる。高い安定性、剛性の向上、調整不要、またスポークティンナデザインもポイントだね。市販車の多くはアルミ合金タイプが装着されているんだ。このタイプは重量が重いのがネックかな」

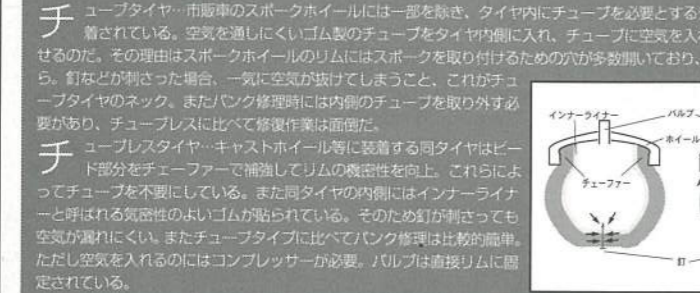
蒲原「軽量な素材はないのか？」
永作「マグネシウム合金がある。アルミ合金よりも軽いが、ハンドリングが、加速、ブレーキなどの性能も飛躍的にアップするよ。ただしアルミ合金に比べて耐久性が劣り、値段も高いけど」
蒲原「お前のSRのホイールはスポークだよな」
永作「そうだけど」
蒲原「何年式だ？」
永作「二応98年式」

蒲原「俺のゼファよりも年式が新しいのに、何ゆえに自転車みたいなスポークホイールを履いているんだ？ロードタイプなんだからメーカも性能のいいキャストホイールを付けてやらないか？」
永作「悪を重視してんだよ。SRにはもともとキャストホイールが採用されていたんだが、クラシカルなイメージを優先させてスポークホイール&ドラムブレーキにマイナーチェンジされた。現行モデルにはディスクブレーキが採用されているけど」

蒲原「スプロックホイールと聞けば、俺は自転車屋のオヤジの姿が頭に浮かぶ」
永作「自転車屋のオヤジ？」
蒲原「子供の頃、近所の自転車屋のオヤジがムツカシ顔して一本一本丁寧にスプロックを張っていたのをよくコソコソと見てた。あれって実際難しいんだろ？」
永作「かなりの職人技、熟練技があるぞうだね。張り方をマスターするにはそれ相応の経験と年月が必要らしい」
蒲原「そもそもスプロックホイールは性能いいの？ 何だか古いイメージがあるぞ」
永作「チューブのいらぬキャストホイールも新しい、チューブが必要なスポークホイールも古い。(※注2) よって性能はキャストホイールが高い、そう思われがちだけど、それは偏った考え方だよ。スポークホイールはクラシカルなフォルムが演出できるだけでなく、衝撃吸収性が優れていること、弾力性があることでソフトな乗り心地であること、そしてホイール自体が軽いこと、これらが最大の特徴なんだ」
蒲原「衝撃吸収性か。だから未舗装の凸凹道を走るオフ車に採用されているわけだね」
永作「その通り。ただし定期的なメンテナンスを怠った場合、例えばリムとハブに張り巡らされているスポークが一本でも緩んだり歪んだりするでしょ。するとすべてのリムのバランスが徐々に崩れてくるんだ」
蒲原「するとどうなる？」
永作「操縦安定性が乗り心地に影響が出てくる。そうならないために定期点検は欠かせないよ」
蒲原「なるほどねえ。お前のSRもキチンとメンテナンスしておけよ」
永作「ついつい怠っちゃうんだよねえ。スポークホイールは掃除を面倒だし。そう言われてみれば最近、心なしか乗り心地がおかしいような気がする」
蒲原「やつぱりな」
永作「何だよ、やつぱりなつて。何かしたのかよお前」
蒲原「実は3日前、スポークを5、6本を拝借した。パーベキューの串替わりにしようと思つて」

永作「嘘をつくな！」
蒲原「そのスポークを手を持って、近所のガキたちがフレンジングごっこをしていた。実にスリリングで楽しめたぜ」
永作「危ねえだろ！ 即効止めさせろ！」
蒲原「それから一応SRからガスリンも抜いた。車の予備燃料にね」
永作「何なんだその予備燃料ってのは！」
蒲原「たったラリットルしか入ってなかったじゃないか。今度は満タンにしておけよ」
永作「ただのガスリン泥棒だろ！」
蒲原「どうもこんばんわ。ネズミ小僧・次郎吉です。フジコちゃん」
永作「それはババの三世。ええ加減にせい。キミとはやつぱり別れんわ」
蒲原「こりゃまたつれい、いたしやしたと！」

※注2…チューブタイヤとチューブレスタイヤ



★下らんことをしゃべっているのは「イツツ」です
ハロルド蒲原(はろると・かんぼろ) 貧乏人、愛車は友人仲間からタダで譲り受けた19年落ちのゼファ400。バイクの知識はあまりない。
マンボイ永作(まんぼい・えいさく) 本誌助っ人、バイク歴は結構長い。愛車はSR400カスタム。マンボイとは大昔時代の番仲間。



■お題目、其の一 多様化する 外装パーツの素材

永作「外装パーツはどんどん多様化しているね」
蒲原「いろんな素材のものが市販されているよなあ」
永作「FRPやカーボン、果てはカーボンケブラーなんて素材のパーツも登場している。(※注1)」
蒲原「大昔はスチールオンリーだったんだ」
永作「転んだりぶつたりして凹んだら、反対側からハンマーでガンガン叩いて自分で直してたんだった」
蒲原「まさに鉄のカタマリって感じだね。バイクを「鉄男」と称していた頃の話だ」
永作「鉄馬、だろ！ 誰なんだよ、テツオ、つて！」
蒲原「ニューハーフの先輩者、カルセウラ麻紀氏の本名(徹男)だ」
永作「木当かよ！」
蒲原「木当だ。あんまり猛々しい名前なんだ」

永作「俺は「へー」って思ったよ」
永作「感想が普通すぎるわ！ 「へー」じゃなくてもう少しヒネれよ！」
蒲原「鉄男とかけて、モジモジ頭の石立鉄男」
永作「思いっきり真珠勝負じゃねえか！ かかってねえよつとも！」
蒲原「FRPやカーボンって頻りに耳にするけど、そもそも両者はどこが違うんだ？」
永作「FRPは市販の外装パーツの中で、今やもっとも多く用いられている素材のひとつだね」
蒲原「プラスチックじゃないのか？」
永作「プラスチックであることには違いない。でもただのプラスチックじゃないんだ。FRPとは繊維強化プラスチックのこと。超極細の強靱なガラス繊維のガラスファイバーと樹脂との複合素材なんだよ」
蒲原「ABSにFRPか。TRFってのも聞いたぜ。解散したと思う、お前？」
永作「知らねえよそんなこと！」
蒲原「現役活動中だ。ポーカーのYUKIは今、空手道場に通っているらしい。でも打撃系ではないな、俺のやらんだころでは」
永作「マニアックなネタを披露すな！ お前はファンなのか！」
蒲原「うーん、微妙なところだ」
永作「ポーカーが空手道場に通っているのを知つてれば、十分にファンだよ！」
蒲原「実はこれは女性週刊誌で仕入れたネタだ。カーボンというの？」
永作「いきなり本題に入るな！ カーボンはカーボン繊維と樹脂との複合素材。大きな特徴は、超軽量、高強度、耐熱性が高いこと。市販のバイク用パーツとしてはサイドカウル、フェンダー等に使用

されている。サイレンサーカバーの素材としても多用されている」
蒲原「モトGPに出場するワークスマシンにも使われてんだろ？」
永作「そう。ワークスにはカウル類だけでなく、ホイールやフレームなど、ありとあらゆる箇所にカーボン製パーツが使用されている」
蒲原「カーボンはFRPよりも凄いつてことだね」
永作「強度や重量の面ではカーボンがリードしている」
蒲原「どっちが高額なの？」
永作「カーボンの方が高価。それらはパーツ価格にそのまま反映される」
蒲原「カーボングレイト、つてなわけだ」
永作「イエス、と言いたいところだけど一般ユーザーレベルでは必ずしもそうとは言えない。FRPはカーボンよりも転倒等による破損時の補修が容易。DIYやホームセンターなどで補修アイテムが簡単に手に入るんだ」
蒲原「そう聞くともFRPってとても身近な気がする。TRFと同じくね。dossも忘れちゃいかん」
永作「TRFは身近なのか！ それに何でTRFプロデュースの一発屋ダンスユニット、dossが出てくるんだよ！ 身近どころかみんな忘れてるよ！」
蒲原「夢にキッス！ 今やすっかり人気者にのし上がったオネエキャラの振付師・カバちゃん&キッス！の2人の女孩子で構成された3人組のdoss。時代を少々先読みしたトリオだ。二人ともある意味、リミットを越えてしまった個性で、俺的には鋼よりも高強度だった。視覚的には史上最強だと思つて」
永作「やめなさいつうの！」

※注1…FRP、カーボン、カーボンケブラーについて
FRP…Fiber Reinforced Plastic (繊維強化プラスチック)の略。ナイロン繊維の約3倍の強度を誇る高強度のガラスファイバー(ガラス繊維)を用い、カーボンやカーボンケブラーよりも加工しやすく、価格もリーズナブル。素材の誕生は第二次世界大戦前のアメリカ。開発当初は戦艦の翼などの素材として頻りに用いられた。
カーボン…元々は宇宙研究・実用用のロケット、また航空業界の分野で活躍してきた素材。超軽量、高強度のほか、電導性、耐熱性、自己潤滑性にも優れている。味のある独特の模様も人気の要因のひとつ。バイク用パーツ以外にも、ヒーターの発熱体、電車のパンタグラフ、釣り竿、ゴルフクラブなど様々な分野で活用されている。
カーボンケブラー…カーボンにケブラー(正確にはアラミド繊維と呼ばれる)を組み合わせた最高級の素材。カーボンよりも高強度だが、価格はカーボンよりも高価だ。ちなみにケブラーは米国デュポン社の登録商標。

